

## 【NEWS RELEASE】

2026 年 2 月 2 日

SMBC日興証券株式会社

暗号資産領域の事業開発を行うDeFiテクノロジー部新設のお知らせ

SMBC日興証券株式会社(以下「当社」)は、暗号資産領域での事業開発に特化した「DeFiテクノロジー部」を新設しました。本部署の設立を通じて、テクノロジーと共に進化し、お客さまへの新たな付加価値提供を目指します。

## 1. 新設の背景および目的

日本における暗号資産は、ビットコインやイーサリアムを中心に決済手段として取り扱われてきました。

本年の国会において、金融商品取引法の下、暗号資産を新たな有価証券分類として規制する方向にて本法の改正が審議され、その中で銀行グループ子会社における投資目的での暗号資産の保有、および暗号資産の発行・売買等も可能とする内容が審議される予定です。また、税制面においても、2026 年度税制改正大綱にて、特定の暗号資産は申告分離課税に転換されることが盛り込まれ、暗号資産の投資環境が大きく変化することが見込まれています。

当社では、2020 年 3 月に設立した Nikko Open Innovation Lab にて暗号資産領域における活動を続けており、2021 年に加盟した日本暗号資産ビジネス協会においても事業環境の整備に取り組んでいます。特に Defi<sup>※1</sup> 分野に注目しており、ZK<sup>※2</sup> 等最新セキュリティ技術や業界動向について学ぶ国際イベント共催や Hashed<sup>※3</sup> との協働によるインキュベーションプログラム開催等ユニークな取り組みをしてまいりました。

これまでに培った同領域での知見とネットワークを強みとし、同領域を取り巻く環境変化を踏まえ、お客さまに対して暗号資産市場への安心安全なアクセスと、高い UI/UX の投資サービスの開発を進めるべく、新部署を立ち上げました。

## 【新設部署の概要】

- 部署名 : DeFiテクノロジー部  
設立日 : 2026 年 2 月 1 日  
目 的 : 暗号資産・ステーブルコインを活用した事業およびシステムの開発  
暗号資産関連規制の整備・提言、暗号資産の発行・売買にかかわる業務

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future

## 2. 今後の展望

今後の次世代金融市場は、暗号資産市場が大きく成長することは勿論のこと、既存の資本市場、そしてオルタナティブ資産市場が全てブロックチェーンインフラの上に統合される RWA<sup>※4</sup>と呼ばれる巨大な市場が形成されていくことが予想されます。

当社は、DeFiテクノロジー部を通じて最先端のテクノロジーを駆使しながら、特に証券会社の本質である市場のゲートキーパーとしての役割を見出せる領域において、ビジネスチャンスを探ってまいります。また、当該領域における人財採用も強化しスピーディーに開発を進めつつ、次世代金融市場を健全かつ効率的に機能させるための体制整備にも積極的に尽力してまいります。

※1 ブロックチェーンの「スマートコントラクト」と呼ばれる技術(暗号資産にプログラムを組み込める技術)を用いて、特定の管理者(中央管理者)を要することなく、自律的かつ自動的に提供される金融サービス全般を指します。

※2 高いプライバシーとセキュリティを守りつつ、認証や検証を行える技術を指します。

※3 当社は 2025 年 6 月に Hashed に LP 出資を実行しています。プレスリリースは[こちら](#)

※4 物理的な資産の所有権やその他権利をデジタルトークンに変換した資産を指します。

以 上